

～大腸内視鏡検査の流れ～

大腸内視鏡検査は前日の食事制限、当日の下剤飲用、腸がキレイになったらやっと検査という一日がかりの大変な検査です。どのような流れで検査が行われるのか紹介していきます！

① 前日の過ごし方

大腸検査を受ける際に、食べ物が十分に消化され、当日の下剤で確実に腸管内をきれいにできるように**2～3日前から消化の良い食事を心がけます。**

特に前日は、食物繊維の多いものや、脂っこい食事は、消化されずに大腸に到達することが多いため控えましょう。腸管内に食べ物が残っていると、内視鏡の動きや視野に制限がかかり検査が難しくなります。

② 検査当日

当日は朝から下剤を内服してもらいます。**2～3時間ほどかけて下剤を飲んでもらい、**腸管内をきれいにしてもらいます。当院は基本的に自宅で飲んでもらっています。

③ 検査

検査時間は**20～30分**ほどですが、腸の長さや形には個人差があるので検査時間が長くなってしまう場合もあります。

また、検査前に鎮痙剤を使用します。鎮痙剤とは**消化液の分泌や蠕動運動を抑えるために使用する薬剤**のことです。蠕動運動が活発だと検査がしづらく、また腸の蠕動によって痛みを感じやすいことから鎮痙剤(腸の動きを抑える薬)を使用することがあります。

④ 検査終了後

鎮痙剤使用後は、内視鏡時に迷気された空気の排出も難しく、食事をしても消化不良になってしまうため**30分～1時間程度は食事を控え、**十分にガスが出てお腹の張りが収まってから食事を再開します。

食事の制限についてですが、ポリープを切除したり、生検をしたいしていなければ特に制限はありません。ポリープ切除や生検をした場合は傷口に刺激を与えないように消化の良い食事をしてもらいます。

ポリープの大きさにもよりますが、**2～7日ほどの間は傷口から出血する場合がありますので、腸をいたわるとともに出血がないかどうか排便時に確認してください。**

☆大腸内視鏡検査前後の食事の管理が大変な場合は食品メーカーから販売されている食物残渣が残りにくい食事のセットもあるので利用してみてください！！